



ESDとは？

Education for Sustainable Development / 持続可能な開発のための教育

ESDは地球規模の課題を自分のこととして捉え、身近なところから取り組む (think globally, act locally) ことにより、課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。

■ ABMORI 植樹 2023年6月25日(日) 山/内町笠岳エリア

2023年6月25日(日)にABMORI植樹祭がありました。今年度も本校から総勢53名の生徒教員が参加し、植樹リーダーとして一般参加者に植え方、藁の巻き方、縄を使った藁の止め方等を教えました。

「皆さんはリーダーなので、苗の扱い方をお客さんが見えています。見られていることを意識してください。一般参加者は何でも知っている人として、皆さんを頼ってきます。何かあれば、誠実に教えてください。」このような言葉が、リーダー研修の際にありました。どこか、他人事で浮かっていた生徒もこの言葉を先生から聞いた時から、目の色が変わって真剣な眼差しを向けて作業していました。

今回の植樹範囲は、笠岳エリアで、過去にも植樹が行われたことのある場所のうち、今まで手がつかなかった場所ということで、傾斜がキツく、登るのに体力を使ってしまうようなエリアでした。

生徒たちは、楽しみながらも真剣に参加者の方へ

植樹方法はもちろん、なぜ植樹をするのかということまで、伝えていました。

3年生は慣れもあり、説明や次の行動もスムーズで、初めて参加する1・2年生ははじめこそぎこちなさが残る感じでしたが、3年生に引っ張られるようにだんだんとスマートに行動できるようになりました。

今回参加した生徒の感想を一部抜粋して記載します。

「なかなか人前で話す機会がないので、いい経験になった。」「植樹リーダーとして責任を持ちながら、楽しむことができた。」「参加者の皆さんに十分な説明ができなかった。」「人と話す時に相手に伝わりやすいような文章を臨機応変に頭の中で作り出すことが必要。」等の感想がありました。得るものが多く、いろいろなことを感じることで、いろいろな活動

でした。

志賀高原の学び2023

